



# CL7 ディスプレイ

**J**  
クイックスタートマニュアル

6YD-2819U-J0

## はじめに

### 警告

製品に関する警告およびその他の重要な情報については、製品パッケージに同梱されている『安全および製品に関する警告と注意事項』ガイドを参照してください。

### デバイスの概要



①	タッチスクリーン
②	電源キー
③	自動バックライトセンサー
④	microSD®メモリアドスロット

### エンジンデータ画面

デバイスをオンすると、エンジンデータ画面が表示されます。この画面はエンジンネットワークやスロットルコントローラによって異なります。

この画面から、他のデータ画面やホーム画面にアクセスできます。別の画面を開くには、画面を右または左にスワイプするか、画面のいずれかの側の矢印を選択します。



①	データフィールド 押し続けるとデータを置き換えられます。
②	現在の時刻 押し続けるとトリップデータを表示できます。
③	ジョイスティックボタンを「Set Point (ポイント設定)」機能に設定する場合に押します ( Helm Master® )。
④	タンクレベル情報 タンクを押し続けると詳細なタンクレベルセンサ情報を表示できます。
⑤	GPS 信号強度 「漁場ポイント RPM 上限」を設定する場合に選択します ( Helm Master )。 トローリング速度を設定する場合に選択します ( Command Link Plus® )。
⑥	データフィールド 押し続けるとデータを置き換えられます。
⑦	シフト位置
⑧	タコメータとトリム角度 押し続けると背景を変更できます。
⑨	エンジン情報 押し続けるとデータを置き換えたリゲージの外観を変更できます。

### エンジンアラートアイコン

赤色のアイコンはエンジンの異常を示します。

### 注記

問題を特定したり修正することができない場合は、Yamaha®ディーラーにお問い合わせください。

	冷却水の圧力が低下しています。
	オイルの圧力が低下しています。 エンジンを停止します。エンジンオイルレベルを点検し、必要に応じてオイルを追加します。
<b>注記</b>	
このインジケータがオンの場合は、エンジンを作動し続けしないでください。エンジンに深刻な損傷が発生します。	
	エンジンがオーバーヒートしています。 エンジンを直ちに停止してください。冷却水の取水口を確認し、ブロックされている場合は障害物を除去します。
<b>注記</b>	
このインジケータがオンの場合は、エンジンを作動し続けしないでください。エンジンに深刻な損傷が発生します。	
	バッテリーの電圧が低下しています。 バッテリーとバッテリーの接続を確認し、緩んでいるバッテリーの接続をすべて締め直します。 バッテリーの接続を締め直してもバッテリーの電圧が上昇しない場合は、すぐに港に引き返してください。直ちに Yamaha デイラーにお問い合わせください。 <b>注:</b> このアラートがオンの場合は、エンジンを停止しないでください。エンジンを停止すると再起動できない場合があります。
	燃料に水が混入しています。 燃料フィルタ (燃料分離器) に水が溜まっています。 直ちにエンジンを停止し、エンジンのマニュアルを参照して、燃料フィルタから水を排出してください。 <b>注:</b> 水が混入したガソリンはエンジンを損傷する可能性があります。
	エンジン / メンテナンスのアラートを確認します。 直ちに Yamaha デイラーにお問い合わせください。チェックエンジンアラートは、前回のメンテナンスから 100 時間を経過したときにも表示されます。
	エンジンアラート通知。 ( Helm Master )
	エンジンの排出に問題があります。

### エンジン状態アイコン

オレンジ色のアイコンは、エンジンの状態を示します。

	Yamaha セキュリティシステムがオンです。
	エンジンが同期制御下にあります。
	エンジンがウォーミングアップ中です。

### GPS 信号強度アイコン

エンジン画面の右上に表示されるアイコンは、GPS 信号強度を示します。

	GPS 衛星信号の強度
	GPS 衛星信号なし

### メニューバーとエンジンバー

画面の下部にあるメニューバー ① の各ボタンを使用して、MFD (多機能ディスプレイ) にその他の機能を表示したり、現在の画面に関する設定を表示することができます。メニューバーは画面を開くと短時間表示され、ホーム画面には常時表示されます。画面の下部からスワイプすると、メニューバーが表示されます。



エンジンの画面を表示していないときは、画面の上部にある小さなエンジンバー ② によって、エンジンゲージのステータスを簡単に確認できます。メニューバーと同様に、エンジンバーは画面を開くと短時間表示されます。画面を上から下にスワイプすると、エンジンバーが表示されます。



## オンスクリーンボタン

次のオンスクリーンボタンは、一部の画面と機能で表示されます。一部のボタンは、組み合わせページまたは SmartMode™ レイアウトにおいて、またはアクセサリ (レーザーなど) が接続されているときにのみ、アクセスできます。

ボタン	機能
	オンスクリーンアイコンを消去し、船舶を画面の中央に表示します
	アイテムのフルスクリーン表示を開きます
	新しいウェイポイントを作成します
	目的地までのルート (方向転換を含む) を作成します
	選択した位置でルートに方向転換を追加します
	最後に追加した方向転換をルートから削除します
	目的地までの直行ルート (方向転換を含まない) を作成します
	目的地までの Auto Guidance ルートを作成します
	ナビゲーションを開始します
	ナビゲーションを終了します
	レーダー送信を停止および開始します
	レーダーのゲイン調整メニューを開きます
	レーダーの海面クラッタ調整メニューを開きます
	レーダーのレインクラッタ調整メニューを開きます
	レーダーのエコトレイルをオンまたはオフにします
	レーダーターゲットを捕捉して追跡を開始します
	VRM / EBL 線を表示し、設定します
	ページまたは機能のメニューを開きます
	ページまたは機能の天候メニューを開きます
	ページまたは機能のレーダーメニューを開きます
	ページまたは機能のプリセットメニューを開きます

## ヒントとショートカット

- ⏪ を押してチャートプロットをオンにします。
- どの画面表示でも、⏪ を繰り返し押すと、輝度レベルがスクロールされます。  
この機能は、画面が見えないほど輝度が低い場合に役立ちます。
- いずれかの画面から **ホーム** を選択し、[ ホーム ] 画面に戻ります。
- メニュー** を選択し、その画面の追加設定を開きます。
- 完了したら **メニュー** を選択してメニューを閉じます。
- ⏪ を押して追加オプションを表示します (バックライトの調整やタッチスクリーンのロックなど)。
- ⏪ を押し、**電源オフ > システムをオフ** を選択するか、**システムをオフ** が完全に表示されてチャートプロットがオフになるまで ⏪ を押したままにします。
- ⏪ を押し、**電源オフ > ステーションをリブ** にするを選択して、チャートプロットをスタンバイモードにします。
- 一部のモデルのホーム画面では、画面右側のカテゴリーボタンを上下にスワイプすると、その他のボタンが表示されます。一部のモデルでは、カテゴリーボタンの一部が非表示になっています。ボタンの上部または下部に矢印がある場合、すべてのボタンが表示されているわけではないことを示しています。
- 一部のメニューボタンでは、ボタン ① を選択すると、オプションが有効になります。



オプションの緑色のライトは、そのオプションが有効であることを示します ②。

- 矢印 ③ がある場合、選択するとメニューが開きます。一部のボタンでは、オプションが選択されると ②、メニュー矢印 ③ が表示されます。

## タッチスクリーンを使用する

- 画面をタップしてアイテムを選択します。
- 画面を指でドラッグまたはスワイプしてパンまたはスクロールします。
- 画面上で2本の指でつまむとズームアウトします。
- 画面上で2本の指を広げるとズームインします。

## お気に入りの項目を追加する

- メイン画面から、右側にあるカテゴリを選択します。
- 左側のボタンを押したままにします。  
項目がお気に入りのメイン画面カテゴリに追加されます。

## SmartMode または結合画面レイアウトを編集する

結合画面の表示可能データと SmartMode レイアウトを編集できます。操作中画面のページのレイアウトを変更すると、SmartMode の名前と記号以外の変更はそのディスプレイにしか表示されません。レイアウトで SmartMode の名前が記号を変更すると、新しい名前や記号はステーション内のすべての画面に表示されます。

- 編集する画面を開きます。
- メニューを選択します。
- 編集レイアウトが組み合わせの編集を選択します。
- 次の中からオプションを選択します。
  - 名前変更: **名前が名前と記号 > 名前** を選択し、新しい名前を入力して、OK を選択します。
  - SmartMode 記号を変更するには、**名前と記号 > シンボル** を選択し、新しい記号を選択します。
  - 表示される機能の数と画面のレイアウトを変更するには、**レイアウト** を選択し、オプションを選択します。
  - 画面の一部の機能を変更するには、変更するウィンドウを選択し、右側のリストから機能を選択します。
  - 画面の分割方法を変更するには、矢印を新しい場所にドラッグします。
  - ページに表示されるデータと追加のデータバーを変更するには、**オーバーレイ** を選択し、オプションを選択します。
  - SmartMode 画面の一部にプリセットを割り当てるには、**プリセット > 含める** の順に選択し、右側のリストからプリセットを選択します。

## データのオーバーレイをカスタマイズする

画面に表示されるデータをカスタマイズできます。

- 表示している画面のタイプに基づいてオプションを選択します。
  - フルスクリーン表示から、**メニュー > オーバーレイを編集する** を選択します。
  - 組み合わせ画面から、**メニュー > 組み合わせの編集 > オーバーレイ** を選択します。
  - SmartMode 画面から、**メニュー > 編集レイアウト > オーバーレイ** を選択します。

**ヒント:** オーバーレイボックスに表示されるデータをすばやく変更するには、オーバーレイボックスを押したままにします。

- データおよびデータバーをカスタマイズする項目を選択します。
  - オーバーレイボックスに表示されるデータを変更するには、オーバーレイボックスを選択し、表示する新しいデータを選択して、戻るを選択します。
  - データオーバーレイバーの位置とレイアウトを選択するには、データを選択し、オプションを選択します。
  - ナビゲーション中に表示される情報をカスタマイズするには、航法を選択し、オプションを選択します。
  - メディアコントロールなどのその他のデータバーをオンにするには、一番上のバーまたは下部バーを選択し、必要なオプションを選択します。
- OKを選択します。

## 海図プロッタのマニュアルにアクセスする

- 情報 > マニュアルの順に選択します。
- マニュアルを選択します。
- 開くを選択します。

## マニュアルをダウンロードする

Garmin®の Web サイトから最新のマニュアルとマニュアルの翻訳を取得できます。

- [global.yamaha-motor.com/outboards/products/manuals/accessories/gauge/index.html](http://global.yamaha-motor.com/outboards/products/manuals/accessories/gauge/index.html) にアクセスします。
- マニュアルをダウンロードします。

## 基本操作

### 現在の位置をウェイポイントとしてマークする

いずれかの画面から、マークを選択します。

### ソーナー画面上でウェイポイントを作成する

- ソーナービューで、画面をドラッグするか  を選択します。
- 位置を選択します。
- 新規ウェイポイントまたは  を選択します。
- 必要に応じて、ウェイポイント情報を編集します。

### チャート上でウェイポイントを作成する

- チャートから、位置またはオブジェクトを選択します。
-  を選択します。

### チャート上のポイントにナビゲーションする

#### 警告

チャートプロッターに表示されるマゼンタの線は、一般的なルートガイダンスの提供または適切な水路の特定のみを目的としたものです。厳密にたどることを目的としたものではありません。船舶の破損、人体への負傷および死亡事故を招く恐れがある座礁や危険物を回避するため、ナビゲーション時は必ずナビエイドと水上の状況に従ってください。

- ナビゲーションチャートまたは釣りチャートから、位置を選択します。
  - 必要に応じて、航法開始を選択します。
  - 次の中からオプションを選択します。
    - 選択した位置に直接ナビゲーションするには、へ行くまたは  を選択します。
    - 選択した位置までの方向転換を含めたルートを作成するには、ルートへまたは  を選択します。
    - Auto Guidance を使用するには、自動ガイドまたは  を選択します。

注：プレミアムチャートでは、海域によって、Auto Guidance を使用できません。
  - ピンクの線で示されたコースを確認します。
- 注：Auto Guidance を使用している場合、マゼンタのラインの一部でグレーになっている部分は、Auto Guidance がその

ラインの一部を計算できないことを表しています。この現象が発生する原因は、安全と判断するために指定された最低限の水深と障害物の高さにあります。

- ピンクの線をたどって操船し、陸地、浅瀬、その他の障害物を避けるようにします。

## メモ리카ードへのユーザーデータのコピー

ユーザーデータをメモ리카ードに保存して、別のデバイスに転送できます。

- メモ리카ードをカードスロットに挿入します。
- 情報 > ユーザーデータ > データ転送 > カードに保存するの順に選択します。
- 必要に応じて、データのコピー先にするメモ리카ードを選択します。
- 次の中からオプションを選択します。
  - 新しいファイルを作成するには、新ファイル追加を選択し、名前を入力します。
  - 既存のファイルに情報を追加するには、リストからファイルを選択し、カードに保存するを選択します。

## トラックを表示する

- チャートから、メニュー > レイヤー > ユーザーデータ > 航跡の順に選択します。
  - 表示するトラックを選択します。
- チャート上のトレイルラインは、トラックを示します。

## トラックログの記録間隔を設定する

トラックプロットが記録される頻度を示すことができます。より頻度の高いプロットを記録すると、精度が向上しますが、トラックログが早くいっぱいになります。メモリをより効率的に使用するために、解像度間隔を設定することをお勧めします。

- 情報 > ユーザーデータ > 航跡 > 有効航路オプション > インターバル > インターバルの順に選択します。
- 次の中からオプションを選択します。
  - ポイント間の距離に基づいてトラックを記録するには、距離 > 変更の順に選択し、距離を入力します。
  - 時間間隔に基づいてトラックを記録するには、時間 > 変更の順に選択し、時間間隔を入力します。
  - コースとの不一致に基づいてトラックを記録するには、解像度 > 変更の順に選択し、トラックポイントを記録する前に、正しいコースからの許容最大エラーを入力します。これは推奨される記録オプションです。



Yamaha®、ヤマハのロゴ、Command Link Plus®、および Helm Master®はヤマハ発動機株式会社の商標です。

Garmin®、Garmin ロゴ、および BlueChart® は、Garmin Ltd.とその子会社の米国およびその他の国における登録商標です。Garmin LakeVü™、および SmartMode™は、Garmin Ltd.とその子会社の商標です。これらの商標を、Garmin 社の明示的な許可なしに使用することはできません。

microSD®および microSD ロゴは SD-3C, LLC の商標です。

その他の商標および著作権は、それぞれの所有者に帰属します。

